



巨大な輪転機で次々と印刷される新聞に瞳を輝かせる子どもたち。4日、琉球新報制作センター

輪転機にびっくり!

読んで
広がる
NIE

子どもたちが新聞
について学ぶ「新報
子ども新聞スクー

ル」が4日、那覇市天久の琉球新報社で開かれ、16組32人の親子が参加した。子どもたちは巨大な輪転機で新聞が次々と印刷される光景に瞳を輝かせな

新報新聞スクール 32人の親子参加

がら、新聞の歴史や作られ方、制作方法の移り変わりを一生懸命に学んだ。

新聞博物館の岡田輝雄館長が制作センターや新聞博物館を案内しながら、「沖縄で初めて新聞が作られて119年になる」「夜中に新聞を印刷するの

は、新しいニュースをぎりぎりまで待って入れるため」などと説明した。編集局NIE推進室の佐藤ひろこ記者が記者の仕事について話した。

参加した宜野湾小3年の安里健伸君(9)は「工場の中で新聞がいつぱいローラーで運ば

れていたのにびっくりした」と、制作センターの巨大な機械に驚いた様子。開南小4年の清川楓さん(9)は「昔の新聞は、文字を集めて作っていたことを初めて知った。これからは新聞をじっくり読んでみたい」と声を弾ませた。